

海外安全対策情報（2021年4月～6月）

在ベネズエラ日本国大使館

1 社会・治安情勢

当地NGOの統計によれば、2021年4月～6月の間に発生したデモ件数は1,887件で、前年同期（2,437件）比で約23%減少、同期間中におけるデモの最中の死者数は0人でした。

デモの訴えは、国内経済のドル化の進行を背景に米ドルでの賃金を求めるもの、また、電気、家庭用ガス、上水道などの公共サービスの向上を訴えるものが大半で、大規模な反政府デモの発生はありませんでした。

また、新型コロナウイルスの感染は依然として高水準で推移しており、医療体制の充実やワクチン接種を求める医療関係者のデモも発生しています。今後の感染や接種状況によっては注意が必要です。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) 全般

当地治安当局によれば、2021年4月～6月の犯罪発生認知総件数は、前年同期比で約15.50%増加しています。特に、強盗や盗難、恐喝等の件数はカラカス都市部などで微増の傾向が見られます。経済のドル化の進行により、ドル現金を持って買い物に向かう人が犯罪の標的になる場合も想定されます。現金はなるべく持ち歩かず、持っていることがわからないように、常に周りに注意してください。

(2) 各論

当地治安当局の情報によれば、引き続きSNSやネットのフリーマーケットを通じた脅迫や強盗被害が頻発しています。7月には、1週間の間に、各地で5人が殺害されるなど、引き続き同種の犯罪が発生しています。個人情報やネットを公開しないようにすることや、見知らぬ相手との売買による接触は避けるなど、日頃から注意を怠らないでください。

カラカス首都区のコタ905地区での、犯罪集団と治安当局との間の衝突については、内務司法大臣が陣頭指揮をとり、警察と軍による大規模な介入を行ったことにより、同地区から犯罪集団が逃走することとなりましたが、主要メンバーはまだ逮捕されておらず、リーダーである通称「エル・コキ」のメッセージがSNSで流布するなど、犯罪集団の再結集や再度の衝突の可能性は排除できませんので、引き続き最新の情報に注意してください。

(3) 邦人及び邦人以外の被害事案

邦人が多く居住する地区で、日中であっても強盗や未遂事件が頻発しております。人目につきにくい路地の奥や、監視の行き届かない駐車場出入口などは狙われやすいので、車両が侵入する際もミラーで周辺に不審車両やバイク、人物がいらないか確認する等して注意を怠らないでください。

3 テロ・爆弾事件発生状況

なし

4 誘拐・脅迫事件発生状況

上記2(2)のとおり。